

論文概要の和文様式

雑誌におけるタイトル: Impact of individual and neighborhood social capital on the physical and mental health of pregnant women: the Japan Environment and Children's Study (JECS)

和文タイトル: 個人および近隣地域のソーシャル・キャピタルが妊婦の身体面・精神面の健康状態に与える影響: エコチル調査

ユニットセンター(UC)等名: 富山UC

サブユニットセンター(SUC)名:

発表雑誌名: BMC Pregnancy and Childbirth

年: 2020 月: 8 巻: 20 頁: 450

筆頭著者名: 両角 良子

所属UC名: 富山UC

目的:

ソーシャル・キャピタルは妊娠期間中の妊婦の健康にプラスに貢献するものと考えられる。しかしながら、大規模な標本を用いた検証は十分に行われていない。そこで本研究では、エコチル調査の個票データを用いて、ソーシャル・キャピタルが妊婦の妊娠期間中の健康関連QOL尺度(SF-8)のスコアに与える影響を検証した。

方法:

エコチル調査に参加している79,210名の母親のデータを解析した。曝露因子は、妊娠中後期に測定した個人および近隣地域のソーシャル・キャピタル、主要評価項目は、SF-8の身体的サマリースコアと精神的サマリースコアであった。共変量は年齢、出産経験の有無、既往歴などの計10変数を用いた。統計解析では、ソーシャル・キャピタルがより豊かであることを処置とみなし、逆確率重み付けを用いて平均処置効果を算出した。

結果:

身体的サマリースコアと精神的サマリースコアの平均処置効果の比較では、ソーシャル・キャピタルの精神的サマリースコアへの効果が、身体的サマリースコアへの効果よりも大きいことがわかった。個人および近隣地域のソーシャル・キャピタルの身体的サマリースコアでの平均処置効果は、プラスとマイナスの値で、いずれも絶対値で0から1の値であった。一方、精神的サマリースコアでの平均処置効果は、個人のソーシャル・キャピタルでは最大で約4.3、近隣地域のソーシャル・キャピタルでは最大で約1.6であった。

考察:(研究の限界を含める)

本研究より、妊婦にとってソーシャル・キャピタルが豊かであると、特に精神面で健康状態が良好になることがわかった。そのため、妊婦からソーシャル・キャピタルに関する情報を収集しておくことで、その後のケアに有効活用できると考えられた。本研究の限界は、ソーシャル・キャピタルに関する詳細な情報が得られていないことである。たとえば、友人や地域社会に関する詳細な情報を収集していない。また、ネットワーク分析も行っていない。そのため、今後の研究では、こうした詳細な点に注目することが必要と考えられる。

結論:

ソーシャル・キャピタルが豊かであると、特に精神面で健康状態が良好になることがわかった。そのため、妊婦からソーシャル・キャピタルに関する情報を収集しておくことで、その後のケアに有効活用できると考えられた。